

第4次一般廃棄物処理基本計画（素案）に対する意見及び見解（10月28日までに提出された意見）

ページ数	委員からの意見	見解
1	1行目、「廃棄物の処理・・・法律」に年度も入れるべきでは。昭和45年度法律第137号。	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年法律第137号、以下・・・）に修正します。
1	本素案全体に渡る文章と図表のことですが、和暦だけではなく西暦年も並記すべきではないか。昨今の事案は、平成から令和に渡るものが多く、長期間の年の流れとして理解しにくい。	基本、和暦としていますが、読みにくくならない程度に西暦も併記するように検討します。
1	第3段落と第4段落の順序を入れ替えた方がよいのではないですか。第2段落で「国における法律・・・」、第3段落で「本市の行政・・・」となり、第4段落で「また広域では・・・」とする方が流れが良いと思う。	現在の流れは次のようにしています。 第1段落：計画の位置付け、第2段落：国の動向、第3段落：本市の状況、動向、第4段落：現行計画の状況（ごみ処理）、第5段落：生活排水処理計画の説明、第6段落：本計画の策定について
1	第5段落のはじめが、「なお」で始めると、如何にも付け足しの感がある。「一方で」の方が良い。	ご指摘のように「一方で」や「また」といった接続詞に変更します。
6	4行目「PDCAサイクルにより、継続的改善を図り、各施策の費用対効果についても検討し、効率的・経済的な施策の実施を行います。」は、以下の方がよいのではないですか。 「PDCAサイクルによる継続的改善と、各施策の費用対効果についての検討により、効果的・経済的・・・」	「PDCAサイクルによる継続的改善と各施策の費用対効果についての検証を行い、効果的・効率的な施策の実施を行います。」と修正します。
15	初めて大阪広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）が出ていますので、ここでこの施設の説明が必要ではないですか。 或いは後述の何処に説明があるかを示しておくべきではないですか。例えば、P19ととか。	記載場所を検討して、最終的には記載します。
17	表1. 1-1中、ライターは燃やさないごみではないですか。	ライターについては、収集車等での火災防止の観点から分別収集を開始しましたが、「燃やすごみ」として焼却処理しています。
17	表1. 1-1中、雑紙は袋に入れ縛るも追加した方がよいのではないですか。	雑紙のみが対象となり限定的であることから、個別には記載せず「ひもで縛る等」と修正します。
21	ここで初めて「中間処理後再生利用量」と言う言葉が出てくるので、その説明が必要ではないですか。	次の文章を追記します。「※中間処理後再生利用量とは、燃やさないごみ及び粗大ごみを破砕処理した際に取り出す鉄等の資源物やセメント原料として利用する焼却後に発生する飛灰等を指します。」
34	「コロナ禍により集団回収活動が控えられていたことから回収量の減少につながったことが原因となっています。」とあり、課題では「集団回収量の減少はコロナ禍により活動が中断していたためであり、・・・」とありますが、本当にここまで言い切れますか。式の構造上、集団回収量は分子だけでなく、分母にも含まれるので、資源化率を上げる効果と逆に下げる効果の両方があります。 それから、コロナにより集団回収活動が控えられたのは全くの事実だと思いますが、それはコロナが切掛となって世の中の趨勢が一気に噴きでたと言うことで、子ども活動を担う子どもが減ってきたことや、同時にそれをサポート協力する父兄の数が減ったことや、地域での助け合いの意識が薄れてきたことなどが、深部底辺にあるように思います。	ご指摘にあるように、集団回収における収集量はコロナ禍以前より右肩下がりで減少しており、コロナをきっかけに大きく減少したようになっています。文章については、次のように変更します。 「令和元年度をピークにコロナ禍に当たる令和2、3年度には減少に転じています。これは、要因のひとつとしてコロナ禍により大規模な集団回収活動が控えられたことが考えられます。 課題：燃やすごみに含まれる「紙」や「剪定枝」の分別を引き続き行う必要があります。また、コロナ禍により集団回収活動を中断していた各種団体の活動の回復を図る必要があります。」

ページ数	委員からの意見	見解
51	3) 中間処理・最終処分の課題ですが、中間処理業務は既にはりまへの移設前から行っているわけですから、市としては高砂市との具体的な話し合いの内容についても記載すべきではないですか。	「課題」としてはありますが、主体が本市ではないため、中間処理・最終処分の説明的な文章に改めます。最終的な文章は高砂市と調整します。
56	目標の2ですが、「令和14年度の将来予測値から・・・」と曖昧な表現ではなく、後述にある19,791t/年をハッキリ書いてもよいのではないですか。	数値目標として「19,791t/年」を掲げます。
61	4.指標一覧の目標値決定の経緯を示してください。	目標値設定の経緯については、P.56から記載してこの一覧にまとめていますが、ページの順番も含めたレイアウトの見直しを検討します。
64	【コラム】は唐突に出てますが、一体本文のどことつながるのですか。	ナッジについて、次のいずれかとします。 ①コラムを削除する ②ナッジを使ったごみ減量施策を検討していきます。
64	ポイント②の意味は理解できるが、実際大きい袋に途中まで入れてラインまでと分かって、果たしてひとつ小さい袋に入れ替えますか。小さい袋に入れ替えたとしても、既に大きい方の袋の内面は汚れており、その袋はどうすると思いますか。	一旦入れたごみを入れ替えることは想定していません。いつも入れている量が示しているラインまでなら、次回購入するごみ袋は小さくても大丈夫ですよという意味で示しています。
66	家庭の部分、フードロスが起きる一因で、食物アレルギーのある人が、買った食材に含まれるアレルギー物質に気づいて、捨てることもある。表示をよくた確かめるといふ工夫も一つかなと思います。	環境省からの抜粋に当たるため、追記は控えます。ただし、抜粋部分について再度検討します。
66	事業所の部分、「販売機会の損失を恐れた多量の発生ではなく、発注ですね。	「発注」に修正します。
67	【コラム】のバックデザインが異なっている。P64と合わせるべきではないですか。	修正します。
73	エコグリーンピアはりまとの協力の部分で、事務委託ではなく、業務委託ではないですか。以降のページにも同様のところがあります。	「事務委託」となります。
89	水質状況で、文章だけではなく、もう少し具体的な基準と改善してきた数値データを示してはいかがですか。	記載場所も含め検討します。
	災害発生時の対応の部分で、応急トイレや災害用トイレなどが、現時点でどれだけの数ストックされているのか示すべきではないですか。その後で、近隣と連携して追加確保して・・・と続ければよいと思います。これらのものは、災害が起きた時には、その日の内に即必要になるものです。	10年間の長期計画となるため、変動が予想される数値の記述は控えます。なお、災害対応の計画として「加古川市地域防災計画」を毎年改定しています。
	多分書いた方が違うのかもしれませんが、ごみの部分と排水の部分で、文章の調子や論調がかなり違うので、読み進めると相当違和感を感じます。2つの部分の文章を合わせる努力が足りないのではないですか。	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」において、一般廃棄物処理基本計画には、ごみに関する部分と生活排水に関する部分を記載することになっています。しかしながら、現況や処理方法、目標とすべきところについては異なる部分が多くありますので、違ってきてしまっていると思います。
	内容で使われている用語について、巻末に用語解説集が必要ではないですか。	用語解説集は掲載します。